

ひがしいけじり いけのうち
東池尻・池之内遺跡、大藤原京左京五条八坊（榎教委 2014-6 次）の発掘調査

調査地 檀原市東池尻町地内

期間 平成 27 年 2 月 9 日(月)～3 月 3 日(火)

調査面積 92.4 m²

調査原因 範囲確認調査

調査機関 檀原市教育委員会 文化財課

成果の概要

東池尻・池之内遺跡では、これまでの調査で古代に築かれた堤を伴う巨大な人工の池跡が発見されています。今回の発掘調査は、堤上面の西半部（池に近い側）で実施しました。堤上面で過去に実施した調査地点は東半部が中心であり、西半部での発掘調査は今回が初めてとなります。

調査の結果、調査区の全域で地山を検出しました。これにより今回の調査地点が、堤・池が構築される遥か以前から自然の高台（小丘陵）であったと確認できました。池の堤はこの高台を利用して構築されています。高台の地面を削り、その際に排出された土を周囲の低い部分に盛ることで、堤を築いたと考えられます。残存している堤の上面は西側（池側）に向かって緩やかに低くなっています。調査地は中世以降、耕作地として利用され続けており、調査区の西半から中央にかけての範囲には耕作の痕跡である溝が存在しています。

堤上面で検出した遺構のうち、古代に遡る可能性があるのは小規模なピット 3 基のみです。古代の遺構は後世に削平されたのか、あるいは当初から希薄であったのか、いずれかです。

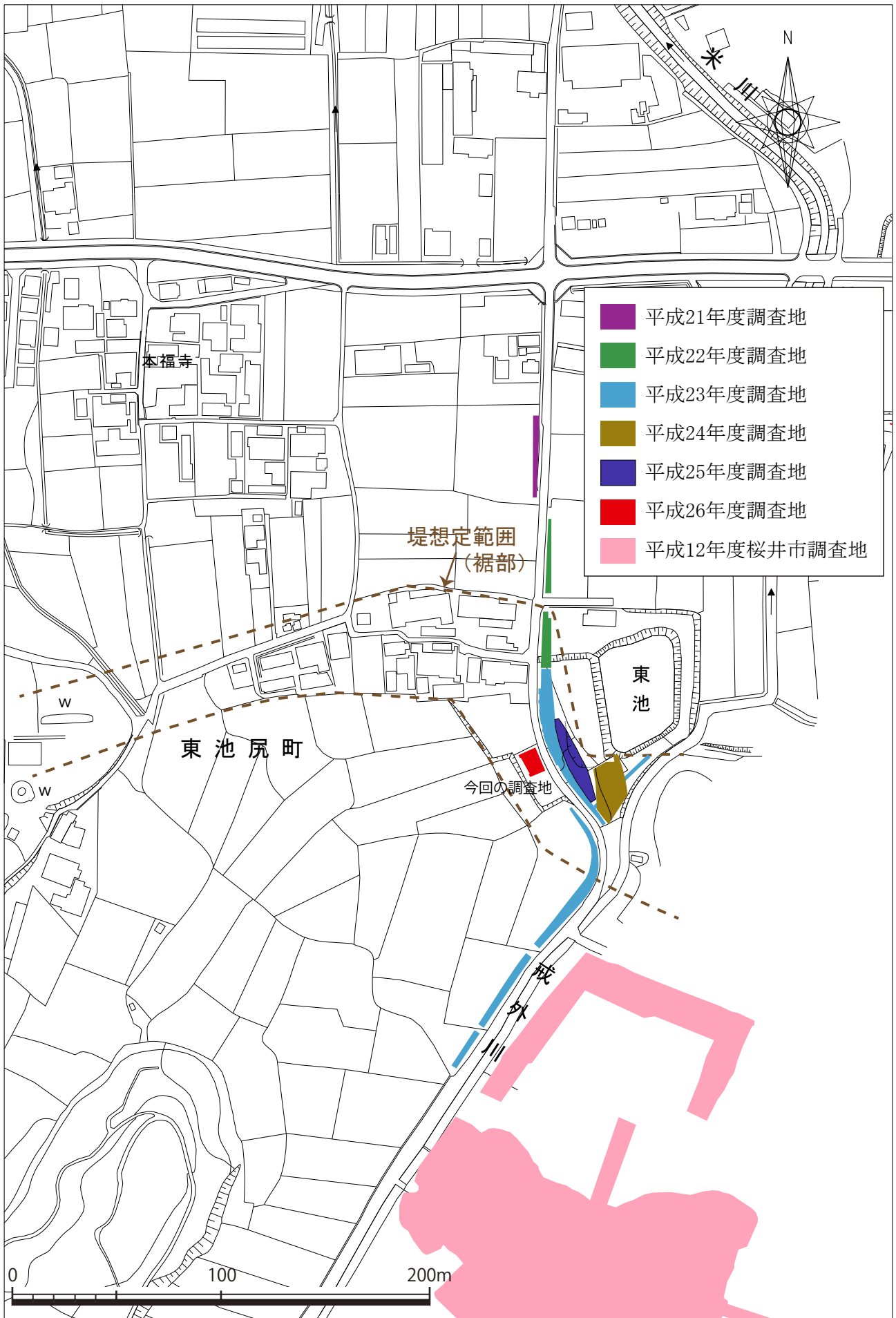
今回の調査地点が堤の一部であると確認できたことにより、堤の上面幅が 25m 以上（東北東－西南西方向）であることが分かりました。これまでに提示してきた、周辺地形をもとにした堤の推定範囲が、調査地近辺では概ね正しかったことを証明できた形となります。

<調査に関するお問い合わせ先> ※土・日・祝日を除く

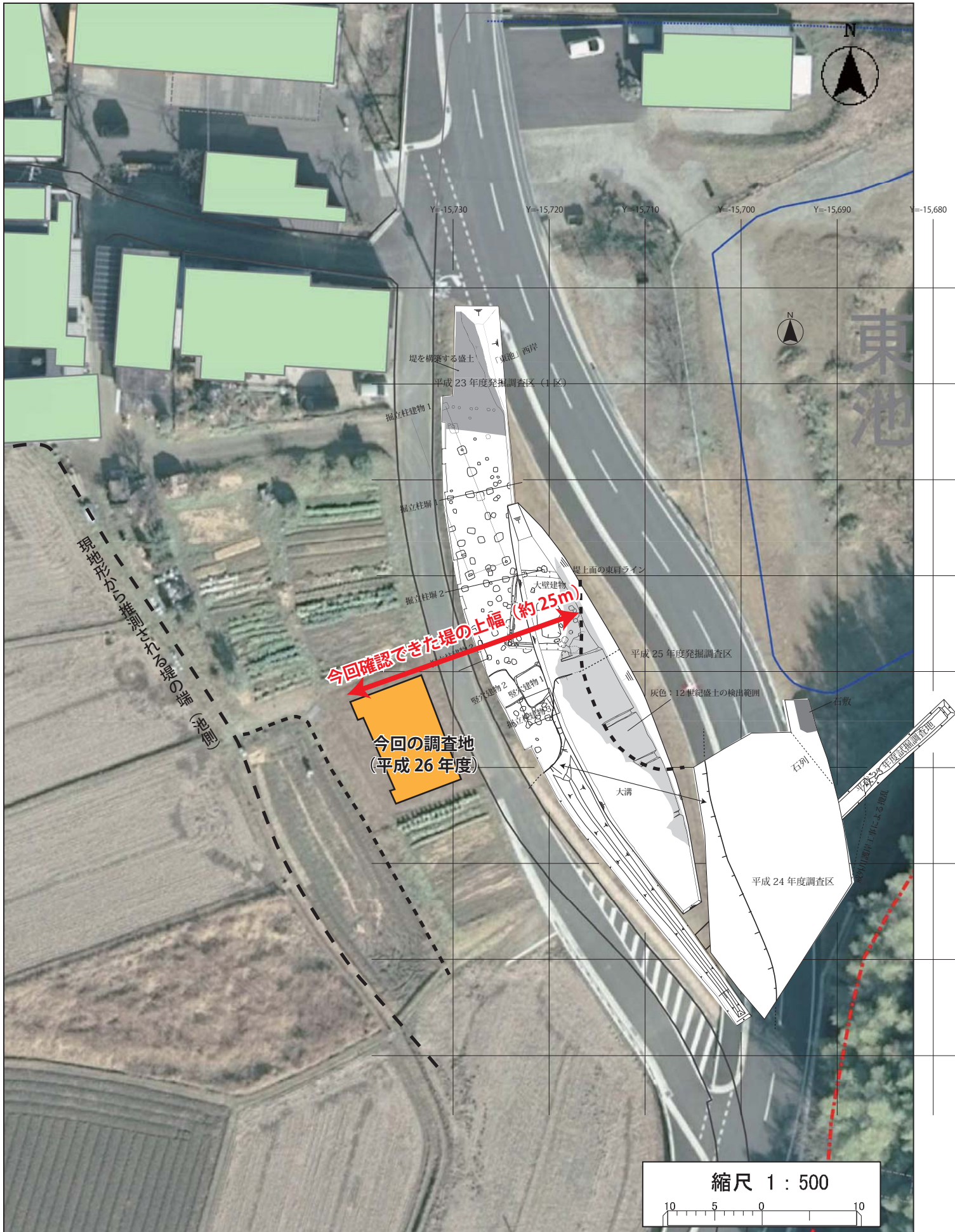
檀原市教育委員会 生涯学習部 文化財課 檀原市川西町 858-1 TEL:0744-47-1315（直通）



発掘調査地位置図（檀原市東池尻町地内）



発掘調査地位置図(S=1/2,500)



調査地周辺平面図 (S=1 / 500)



調査地中景
(南東から)



池側から見た調査地
(南から)



中近世の耕作痕、
地山の検出状況
(東南東から)



堤面（地山）検出状況
（東南東から）



堤面（地山）検出状況
（南から）



調査区北東隅
柱穴検出状況
（南東から）